

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月4日

上場会社名 萬世電機株式会社
 コード番号 7565 URL <http://www.mansei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 占部 嘉英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 村山 憲司
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 大

TEL 06-6454-8211

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	19,804	—	477	—	349	—	177	—
20年3月期第3四半期	20,226	△1.1	505	△9.3	592	1.4	302	△5.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	38.59	—
20年3月期第3四半期	65.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第3四半期	16,185	1,553.69	7,128	1,553.69	44.0	1,553.69
20年3月期	16,264	1,549.60	7,110	1,549.60	43.7	1,549.60

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 7,128百万円 20年3月期 7,110百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
21年3月期	—	8.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注)平成20年3月期期末配当金は、記念配当3円含む。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△7.0	600	△21.1	450	△42.0	250	△36.3	54.48

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ定性的情報・財務諸表等4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ定性的情報・財務諸表等4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	4,600,000株	20年3月期	4,600,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	11,568株	20年3月期	11,355株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	4,588,526株	20年3月期第3四半期	4,589,598株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、3ページ定性的情報・財務諸表等3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融不安、円高の進行、個人消費の低迷により企業収益が悪化し、生産の低迷、雇用の不安定化を招くなど、景気後退が続きました。

当社グループの関連する業界につきましては、これまで好調であった鉄鋼関連産業の需要が鈍化し、また精密機械産業では生産調整の動きが強まりました。

このような状況の中、当社グループは、取扱商材の拡大、新規顧客の開拓に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は198億4百万円、営業利益は4億77百万円、経常利益は3億49百万円、四半期純利益は1億77百万円となりました。

取扱商品の部門別状況は、次のとおりであります。

なお、前年同四半期の金額及び増減額等は参考として記載しております。

(単位:百万円)

	前年同四半期	当四半期	増減額	前年同期比(%)
電気機器	7,110	6,968	△142	98.0
電子デバイス・情報通信機器	7,867	7,108	△758	90.4
設備機器	3,519	3,922	403	111.5
産業機械・その他	1,729	1,804	75	104.4
合計	20,226	19,804	△422	97.9

(電気機器) 売上高69億68百万円

電気機器につきましては、公共案件向けにコントローラは堅調に推移しましたが、これまで堅調に推移してきた海外液晶メーカー向け駆動制御及びコントローラが鈍化しました。配電制御機器につきましては、建築設備投資の低迷を受け、低調な推移となりました。

(電子デバイス・情報通信機器) 売上高71億8百万円

半導体・デバイスにつきましては、鉄道車両向けパワーデバイスは堅調に推移しましたが、全般的に厳しい状況が続きました。情報通信機器につきましては、情報化投資需要は低迷しておりますが、アミューズメント向けにFAパソコンが伸長しました。

(設備機器) 売上高39億22百万円

設備機器につきましては、工場、ビルのリニューアル工事、食品店舗の新築、改装工事需要が活発で、業務用空調機、冷凍・冷蔵ショーケースなどの冷熱機器及び関連工事が堅調に推移しました。

(産業機械・その他) 売上高18億4百万円

産業機械につきましては、工作機械業界の低迷により、レーザー及び放電加工機は低調に推移しました。鉄鋼関連及び自動車関連の需要が鈍化するなか、重電機器その他は堅調に推移しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は161億85百万円(前連結会計年度末比78百万円減)となりました。

流動資産は142億2百万円(同比44百万円減)となりました。これは主に現金及び預金は7億14百万円、たな卸資産は64百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が6億39百万円、未収入金が2億11百万円減少したことによるものです。固定資産は19億82百万円(同比34百万円減)となりました。これは主に投資有価証券が45百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は90億56百万円(同比97百万円減)となりました。

流動負債は86億62百万円(同比1億14百万円減)となりました。これは主に未払法人税等が1億85百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は71億28百万円(同比18百万円増)となりました。これは主に利益剰余金が92百万円増加し、その他有価証券評価差額金が69百万円減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は29億94百万円(前連結会計年度末比7億14百万円増)となりました。各キャッシュ・フローの主な増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は10億20百万円となりました。これは主に売上債権の減少により資金が6億37百万円、仕入債務の増加により資金が5億26百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は2億13百万円となりました。これは主に有価証券の売却により資金を1億98百万円得ましたが、有価証券の取得のために資金を4億23百万円使用したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は85百万円となりました。これは主に配当金の支払のために資金を84百万円使用したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、設備投資計画の延期・凍結、生産・在庫調整が続いており、当社グループを取巻く事業環境は、今後も厳しい状況が続くと予想され、前回発表した業績予想を下回る見込みです。

なお、平成20年11月5日の決算短信で発表しました通期の業績予想との差異は以下のとおりです。

平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	700	600	330	71 92
今回修正予想(B)	26,000	600	450	250	54 48
増減額(B-A)	△2,000	△100	△150	△80	—
増減率(%)	△7.1	△14.3	△25.0	△24.2	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	27,949	760	776	392	85 47

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。なお、これによる損益に与える影響はありません。

(追加情報)

賞与引当金

前連結会計年度においては、従業員賞与の確定額を未払費用として計上しておりましたが、当第3四半期連結累計期間は支給額が確定していないため、支給見込額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度においては支給確定額191,150千円を流動負債(その他)に含めて計上しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,994,358	2,279,403
受取手形及び売掛金	9,918,618	10,558,482
商品	925,678	861,605
繰延税金資産	110,599	110,598
未収入金	202,397	414,253
その他	54,238	26,360
貸倒引当金	△2,975	△3,167
流動資産合計	14,202,914	14,247,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	179,214	186,739
土地	165,074	165,074
その他（純額）	21,428	24,688
有形固定資産合計	365,717	376,502
無形固定資産		
	63,534	88,140
投資その他の資産		
投資有価証券	1,286,625	1,332,077
繰延税金資産	167,301	132,671
その他	121,627	109,830
貸倒引当金	△21,835	△22,079
投資その他の資産合計	1,553,718	1,552,499
固定資産合計	1,982,970	2,017,141
資産合計	16,185,885	16,264,678
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,661,887	7,351,255
短期借入金	580,000	580,000
未払法人税等	134	186,101
賞与引当金	95,468	—
役員賞与引当金	20,453	27,000
その他	304,646	632,268
流動負債合計	8,662,590	8,776,625
固定負債		
退職給付引当金	148,357	143,506
役員退職慰労引当金	180,900	170,800
その他	65,042	63,204
固定負債合計	394,299	377,511
負債合計	9,056,889	9,154,136

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005,000	1,005,000
資本剰余金	838,560	838,560
利益剰余金	5,334,125	5,241,957
自己株式	△7,055	△6,910
株主資本合計	7,170,629	7,078,606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,371	39,129
為替換算調整勘定	△11,262	△7,193
評価・換算差額等合計	△41,634	31,935
純資産合計	7,128,995	7,110,542
負債純資産合計	16,185,885	16,264,678

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	19,804,586
売上原価	17,377,455
売上総利益	2,427,130
販売費及び一般管理費	1,949,973
営業利益	477,157
営業外収益	
受取利息	22,255
受取配当金	11,070
投資事業組合運用益	10,329
その他	6,672
営業外収益合計	50,327
営業外費用	
支払利息	6,774
売上割引	11,074
為替差損	36,958
有価証券評価損	120,658
その他	2,069
営業外費用合計	177,534
経常利益	349,950
特別利益	
固定資産売却益	86
特別利益合計	86
特別損失	
固定資産売却損	93
固定資産除却損	425
特別損失合計	518
税金等調整前四半期純利益	349,517
法人税、住民税及び事業税	172,461
法人税等合計	172,461
四半期純利益	177,055

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	349,517
減価償却費	46,455
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,100
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,851
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,547
賞与引当金の増減額 (△は減少)	95,468
未払賞与の増減額 (△は減少)	△191,151
受取利息及び受取配当金	△33,325
支払利息	6,774
為替差損益 (△は益)	9,228
投資事業組合運用損益 (△は益)	△10,329
有価証券売却損益 (△は益)	8
有価証券評価損益 (△は益)	120,658
売上債権の増減額 (△は増加)	637,597
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△64,969
仕入債務の増減額 (△は減少)	526,171
その他	△166,252
小計	1,334,256
利息及び配当金の受取額	34,435
利息の支払額	△5,657
法人税等の支払額	△342,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,020,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△14,367
有形固定資産の売却による収入	213
無形固定資産の取得による支出	△2,945
有価証券の取得による支出	△423,954
有価証券の売却による収入	198,553
投資事業組合からの分配による収入	41,310
その他	△12,098
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△145
配当金の支払額	△84,888
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,133
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	714,954
現金及び現金同等物の期首残高	2,279,403
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,994,358

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～12月31日)

当社グループは、三菱電機グループ製品の販売を主としており、製品の種類・性質・販売市場等の類似性から判断して、事業の種類別セグメントは記載しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、その記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日～12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1)(要約)四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	20,226,827
II 売上原価	17,762,715
売上総利益	2,464,111
III 販売費及び一般管理費	1,959,064
営業利益	505,047
IV 営業外収益	
受取利息・受取配当金	28,844
その他	117,677
営業外収益合計	146,522
V 営業外費用	
支払利息	7,146
その他	52,075
営業外費用合計	59,221
経常利益	592,348
VI 特別利益	
貸倒引当金戻入益	4,720
特別利益合計	4,720
税金等調整前四半期純利益	597,068
法人税等	294,181
四半期純利益	302,887

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前四半期純利益	597,068
2. 減価償却費	46,464
3. 売上債権の増減額(△は増加)	1,416,959
4. たな卸資産の増減額(△は増加)	162,458
5. 仕入債務の増減額(△は減少)	△598,812
6. 法人税等の支払額	△318,899
7. その他	△187,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,117,604
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 有形固定資産の取得による支出	△15,809
2. 有価証券の取得による支出	△109,700
3. 有価証券の売却による収入	51,053
4. 投資事業組合からの分配による収入	122,220
5. その他	△2,261
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,502
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入金の返済による支出	△220,000
2. 配当金の支払額	△78,028
3. その他	△787
財務活動によるキャッシュ・フロー	△298,816
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	8
V 現金及び現金同等物の増加額	864,299
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,324,933
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,189,232

(3)セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

当社グループは、三菱電機グループ製品の販売を主としており、製品の種類・性質・販売市場等の類似性から判断して、事業の種類別セグメントは記載しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、その記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。